

番号	5	事業名	広域基幹河川改修事業		市町村名	長野市		路河川名	(一)犀川	箇所名(ふりがな)	久米路(くめじ)	
事業計画時の課題・背景及び事業経緯	<p>○当箇所は河道が狭く蛇行しており、上流の長野市信州新町地区では、たびたび越水の被害に見舞われてきた。 (昭和58年9月台風10号:被災家屋620棟・被害総額約32億円、平成16年台風23号、平成18年豪雨など)</p> <p>○過去の被災経験から、地元住民より浸水被害を解消するための抜本的な治水対策を望む強い要望がある。</p> <p>○屈曲・狭窄部におけるせき上げ緩和のため、S60~H4に久米路河川トンネルを先行して実施。</p> <p>○平成11年に久米路第2河川トンネル工事(L=200m)及び杉山右岸開削工事(V=38万m3)を事業化 その後、事業期間の延期に伴い、平成20年度に再評価を実施し、継続評価を受けている。</p>								②事業実施に伴う自然環境・生活環境等の変化	事業実施に伴う自然環境・生活環境等の変化(A:環境がよくなった B:大きな影響なし C:影響が大きい)		評価
	<p>○景勝地でもある久米路峡における環境・景観への影響に配慮し、河川トンネル工法を採用している。</p> <p>○開削で生じた法面及び残土処理場の法面では、在来種を使用するなど環境に配慮した植生を実施している。</p>									B		
事業目的	○本事業は、信州新町地区の浸水被害軽減を目的とし、開削及び河川トンネル工事により出水時水位低下を図るものである。(河川整備計画に基づき実施。また、東京電力から受託費あり:1/3)								③施設の維持管理状況	施設の維持管理状況(A:地域の人たちの参加あり B:適切 C:やや不十分 D:不適切)		評価
事業概要	当初工期	H11~H20	費用対効果(当初時)	2.07	事業費(千円)		財源内訳(千円)			A		
	最終工期	H11~H25	費用対効果(評価時)	2.30	上段:当初/下段:最終()は国補事業分以内数		国庫	その他	県債		一般財源	
	当初計画内容(主な工種)	河川トンネル工事 L=200m 開削工事:杉山右岸 V=38万m3		2,666,000	888,667	888,667	799,800	88,866	地域住民等の評価(A:評価が高い B:中程度の評価 C:評価が低い)		評価	
	最終事業実績(主な工種)	河川トンネル工事 L=200m 開削工事:杉山右岸 V=38万m3		2,400,000	800,000	800,000	720,000	80,000	<p>○治水安全度が向上し、流域周辺住民から安心であるとの声をいただいた。</p> <p>○竣工時には地元主催による完成祝賀会が開催され、喜びの声をいただいた。</p> <p>○竣工後の豪雨でも被害はなく、安全安心の向上につながったとの声を流域周辺住民からいただいた。</p> <p>○治水対策終了後も地元の恒久治水対策委員会で、今後のハード・ソフト対策のあり方について議論している。</p>		A	
事業期間の延長、短縮理由と分析	・計画や工事内容の精査により、当初計画に対して約5年延長した								④地域住民等の評価			
事業費(予算)の増加、縮減理由と分析	・請負差金等による減額									改善措置の必要性	○河川の屈曲・狭窄部であり、河床へ埋塞土が堆積しやすいため、定期的な堆積土管理を行う必要がある。	
①事業効果の発現状況	事業効果の発現状況(A:目的を超えた達成 B:達成した C:概ね達成)								B		今後の取り組み及び同種事業への活用と課題	○事業実施箇所の環境や景観に配慮し、治水対策工法を選択することが必要。
	<p>○対策工の実施により、平成28年9月の台風16号では、「新町橋下流-200m地点」において29cmの水位低下を確認した。 (参照:(様式3-3)事後評価説明シート:「洪水時の対策工の効果について(「新町橋下流-200m地点」)」)</p> <p>○保全対象である人家139戸、(国)19号1.9km、田畑17haの浸水被害が防止された。</p> <p>○整備完了後の平成26年度から平成30年度まで、出水による浸水被害等は発生していない。</p>									○河川/パトロール等により、継続的に河川状況を把握するとともに、適切な維持管理を行うことが必要。 また、今後の事業実施に当たっては、計画段階から地域住民と維持管理について協議を行うことを促進する。		
	間接的効果(定量的・定性的) ※事業の主たる目的以外で地域社会への貢献状況				○信州の土木カードとして、久米路橋や河川トンネルがカード化され、観光資源として活用されている。				建設部公共事業評価委員会の意見	○河川トンネル工事及び開削工事により、流下能力、治水安全度が向上していることから、事業の目的を達成しており、地域住民の評価が高いなど総合評価Aが妥当と判断する。		総合評価
								長野県公共事業評価委員会の意見	○建設部公共事業評価委員会の意見が妥当であると判断する。		評価監視委員会意見	妥当
										評価の決定	A	